

2009年9月18日
郵便局株式会社九州支社**オリジナルフレーム切手「平戸から始まった日蘭通商400年」の販売について**

郵便局株式会社 九州支社（熊本県熊本市城東町1-1、支社長 中澤欣三）は、下記のオリジナルフレーム切手を販売します。このオリジナルフレーム切手は、日蘭通商開始から400周年という記念すべき年を迎える平戸市のオランダにちなんだ名物・名所等を題材としたもので、地域を限定して販売します。

記

1 販売する切手シート

名 称	平戸から始まった日蘭通商400年
販 売 期 間	平成21年10月20日（火）～平成22年1月19日（火）
販 売 部 数	2,000部
販売郵便局	佐世保市、平戸市、大村市、松浦市、西海市、北松浦郡、東彼杵郡内の郵便局計109局（簡易郵便局を除きます。）
シート構成	1シート 80円切手×10枚
販 売 単 位	シート単位で販売します。
販 売 価 格	1シート 1,200円

2 切手デザイン

別紙のとおり

3 その他

このオリジナルフレーム切手は、通信販売を行いませんので、お近くの販売郵便局にてお買い求めください。

以上

【報道機関の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社九州支社企画部（広報担当）

電話：096-328-5117

【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社九州支社営業本部営業企画（郵便担当）

電話：096-328-5282

2009「平戸オランダ年」400 周年記念事業

平戸から始まった日蘭通商 400 年 ～時を越えて今に残る歴史が平戸にある～



Hirado

幸橋(オランダ橋)

国指定重要有形文化財。オランダ商館建造に携わった大工がその架橋技術を地元の石工に伝授したものと伝えられている。

オランダ堀

商館を隠すため作られた砂岩と貝殻と石灰を交えた漆喰で固めた堀。

12x おらんだ

毎年オランダ人芸術家を平戸に招き、市民との交流を繰り広げている。

松浦史料博物館

蘭英貿易が盛況を極めた時代の平戸藩主居宅跡。

青少年日蘭交流

オランダノールトワイケルハウト市と平戸市とのサッカー交流。

平戸和蘭商館図

オランダ人宣教師モンタヌス著「東インド会社遣使録」より。

阿蘭陀人の図

松浦史料博物館所蔵「外国人之図」のオランダ人の描かれた部分。

平戸和蘭商館倉庫完成予想図

1641年に幕府の命により取り壊されたオランダ商館(石造り倉庫)は現在復元工事中。2011年秋に開館予定である。

チューリップひらど

平戸とオランダとの交流が生んだ新品種のチューリップ。

異国船絵巻

長崎に來航した外国船の正確な写真図で船舶史上貴重な資料である。



幸橋(オランダ橋)

80

NIPPON



平戸和蘭商館図

80

NIPPON



チューリップひらど

80

NIPPON



オランダ堀

80

NIPPON



松浦史料博物館

80

NIPPON



阿蘭陀人の図

80

NIPPON



異国船絵巻

80

NIPPON



12x おらんだ

80

NIPPON



青少年日蘭交流

80

NIPPON

NIPPON

80



平戸和蘭商館倉庫完成予想図

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

△印刷製法式会社製

